

令和4年4月20日

各位

西三河剣道連盟
理事長 大田 義弘

第69回 西三河剣道大会の開催について（案内）

みだしの大会を下記により開催いたしますのでご案内いたします。

記

1. 日時 令和4年6月12日（日）午前9時30分開会
午前部（中学男子・中学女子）受付8時45分～
午後部（高校男子・高校女子・大学一般男子・大学一般女子）受付13時～
2. 会場 岡崎中央総合公園武道館（岡崎市高隆寺町字峠1 Tel 0564-25-7887）
3. 主催 西三河剣道連盟
4. 後援 （一財）愛知県剣道連盟
5. 主管 岡崎市剣道連盟
6. 種別 (1) 大学・一般男子の部 (2) 大学・一般女子の部
(3) 高校男子の部 (4) 高校女子の部
(5) 中学男子の部 (6) 中学女子の部
※中学・高校の部は学校単位とする。
7. 試合方法 (1) 各部とも団体戦、選手5名（大学・一般女子のみ3人制）、トーナメント方式
(2) 全日本剣道連盟試合並びに審判規則による
8. 参加資格 ①西三河剣道連盟会員であること。
西三河剣道連盟会則第6条 本連盟の会員は次のとおりとする。
（西三河剣道連盟傘下の各地区剣道連盟に会員として加盟している者）
②選手は5段以下であること。（5段含む）
③中学・高校の部は男女とも1校1チームとし、大学・一般の部は男女とも1団体2チームとする。
9. 表彰 各部とも優勝、準優勝、3位（2チーム）に賞状、賞品を授与する
10. 参加料 1チーム5,000円（3人制は3,000円）（保険料含む）
申込期限内に必ず団体名で振込して下さい。（現金書留は不可）
【振込先】豊田信用金庫 本店
普通 9067555
西三河剣道連盟 事務局 手嶋道雄
（ニシミカワケンドウレンメイ ジムキョク テシマミチオ）
申込み後の参加費は返金しません。
11. 申込 (1) 締切日 令和4年5月16日（月）必着
(2) 申込方法は、岡崎市剣道連盟ホームページより申込書をダウンロードし、必要事項を入力した申込書データを提出先アドレスへ送信して下さい。

ホームページ：<https://www.okazakishikendo.com/>

提出先アドレス：okazakishi.kendo@gmail.com

※大会要綱についての問い合わせ先

西三河剣連事務局 成瀬 文浩 電話 090-3308-8303

※締切日以降の受付はいたしませんのでご注意ください。

※ファックスによる申込みは受付いたしません。

12. その他

- (1) オーダー表は受付に提出して頂き、選手変更は大会当日、受付にてオーダー表を変更し受理します。大会開始後の選手変更はできません。

補欠選手はありません。なお、ポジションの変更はできません。

- (2) 竹刀検査は行いません。事前に十分点検しておいて下さい。

- (3) 面マスクとマウスシールドは必須です。

- (4) アップの時間は設けません。

- (5) オーダー表を大会当日受付に提出して下さい。

B4用紙を横に貼り合わせた大きさ（26cm×71cm）規格を厳守すること。

※選手が4名の場合は次鋒を、3名の場合は次鋒と副将を空欄としてください。

種別	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
チーム名					

- (6) 紅白の目印（タスキ）をご持参ください。

- (7) 一枚の布に、申込した所属と選手名前を記入した名札（ゼッケン）を着用してください。（所属名が相違した名札を着用した場合、そのチームは失格となりますので留意してください。）

- (8) 組み合わせは主催者で行います。なお、シードは行いません。

- (9) 事故に対する措置

試合中における負傷等に対しては、応急の措置は致します。

その後は連盟加入の保険の保障範囲内で対応します。

- (10) 来場方法

当日、会場内（施設）には選手及び監督・責任者2名の入場とします。

- (11) 会場内外における係員の指示には従って下さい。各種の事故の防止と大会の円滑な運営のためにご協力下さい。

- (12) 試合当日の午前7時の時点において西三河圏内のいずれかの地域に暴風警報が発令中であれば中止とします。（午前7時以降に各地区剣道連盟事務局に確認して下さい。）この場合参加料の返金は出来ませんのでご理解の上お申し込み下さい。

- (13) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により再度大会開催が困難と判断された場合は中止します。この場合参加料は返金します。

- (14) 履物を入れる袋、ごみ袋は持参し管理して下さい。

- (15) 当日、大会参加者確認票を提出して下さい。

- (16) チーム内で体調不良者が出た場合、そのチームの参加を見合わせて頂きます。

令和4年4月20日

関係各位

西三河剣道連盟

理事長 大田義弘

大会を開催するにあたり新型コロナウイルス感染症対策として 参加者および関係者が遵守すべき事項

◆以下の事項に該当する場合は参加を見合わせる事

☐体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

体温が37.5度以上ある人や37度以上あり且つ風邪症状がある人

☐同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

☐過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、
地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

☐基礎疾患のある人

※基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は主治医の承認を得るものとする

◆マスクを持参すること

☐競技中以外も常にマスクを着用すること（関係者等もマスクをすること）

☐選手が試合を行う時は面マスクとマウスシールドを着用し面マスクは鼻を覆うように装着すること

◆選手は鰐ぜり合いをできるだけ避け、やむを得ず鰐ぜり合いになった場合は直ぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さないこと（引き技の発声は認める）

◆こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

- ◆他の参加者、関係者との距離（できるだけ2 mを目安に（最低1 m））を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合は除く）
- ◆大きな声での会話、声を出しての応援等は禁止とする（応援は拍手のみ）
- ◆感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の支持に従うこと
- ◆大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに感染の報告および濃厚接触者の有無等について報告すること
- ◆大会前後のミーティング等（先生による指導）においても三つの密を避けること
- ◆大会前後の懇親会等を控えること
- ◆靴を入れる袋を持参して、各自で靴の管理をすること
- ◆会場内へ入る時は必ず足の消毒を行うこと（会場入り口に主催者側で用意します）
- ◆自分の剣道具および竹刀、面手拭などを他人に使わせないこと
また他人の物を使わないこと（忘れ物をしないこと）
- ◆ゴミ袋は自分で用意し持参した物、ごみは必ず持ち帰り会場内で捨てないこと
- ◆試合が終了したら、速やかに会場（施設）から退出すること
- ◆大会参加者確認票を必ず持参すること
- ◆参加者は観客席を控え場所とします
- ◆当日、会場内（施設）には登録した選手及び監督・責任者のみの入場とします
- ◆着替えは原則自宅ですませておく
やむなく大会会場で更衣室（更衣場所は設けます）を利用する場合は密を避けるため人数制限をかけます
- ◆全日本剣道連盟、愛知県剣道連盟の「新型コロナウイルス感染症感染拡大対策の大会ガイドライン」に沿って行います

第 6 9 回西三河剣道大会

開催日：令和4年 6月12日(日)

会 場：岡崎中央総合公園武道館

チーム名 学校名	部門
-------------	----

個別健康チェック項目を確認して□に✓点を入れて下さい

会場入場者	No.	氏名	年齢	検温	住 所	緊急時連絡先番号
監督 責任者	1		歳	℃		
		☐ 体温が37.5度未満で体調は良好である ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国・地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触はない				
	2		歳	℃		
		☐ 体温が37.5度未満で体調は良好である ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国・地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触はない				
出場選手	3		歳	℃		
		☐ 体温が37.5度未満で体調は良好である ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国・地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触はない				
	4		歳	℃		
		☐ 体温が37.5度未満で体調は良好である ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国・地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触はない				
	5		歳	℃		
		☐ 体温が37.5度未満で体調は良好である ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国・地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触はない				
	6		歳	℃		
		☐ 体温が37.5度未満で体調は良好である ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国・地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触はない				
	7		歳	℃		
		☐ 体温が37.5度未満で体調は良好である ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国・地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触はない				

*大会当日の検温結果を記入し受付に提出して下さい。

令和3年11月25日

西三河剣道連盟会員各位

西三河剣道連盟

理事長 大田 義弘

次ページのとおり当連盟につきましては、全日本剣道連盟の指導に沿ったコロナ対策に準じて事業を展開してまいります。

全日本剣道連盟発信の 次ページ「PCR・・・囲み罫線内」の対応についての検査にかかる費用はそれぞれに個人様にて負担して頂くこととなりますので御承知おきください。
よろしくご理解、ご対応をお願いいたします。

以上

和 3 年 8 月 9 日

都道府県剣道連盟 御中

公益財団法人全日本剣道連盟

感染者が出た場合の PCR 検査・抗原検査の実施について

最近、全日本剣道連盟（以下、全剣連）の新型コロナウイルス感染症報告システムへの報告が増えています。これまでは剣道の稽古と直接的に関連しないものがほとんどだったのですが、デルタ株の流行拡大とともに、剣道人が稽古後に PCR 検査陽性となったという事例が増えつつあります。

この点、以下に大事なことをお知らせします。

これまでは、面マスクとフェイスシールドの着用により、相手からの直接的な飛沫による感染はほぼ防げていたのですが、感染性の高いデルタ株では目に見えないような空気に漂うマイクロ飛沫（＝間接的な飛沫）を浴びても感染が拡がることがわかっています。つまり、面マスクやフェイスシールドを着用していても、ウイルスを大量に排出している人が近くに居ると、感染が防げない可能性があるのです。

以上のことから、もし剣道の稽古後に同じ道場やクラブで感染者が出た場合には、稽古に参加していた人たち全員にも感染が拡がっている可能性があると考えるべきです。

このことから、同じ稽古に参加していた人たちには、必ず全員、PCR 検査あるいは抗原検査を受けるように勧めてください。現在の厚生労働省の指針では、いわゆる濃厚接触者のみが検査を受ければいいのですが、デルタ株流行の折、全日本剣道連盟としては以下のようお願いします。

「PCR 陽性者が出た場合、同じ稽古に参加していた人たち（見学者を含む）には全員、PCR 検査あるいは抗原検査を受けるように指示してください。そして、その最終的な結果を全剣連の新型コロナ報告システム

(https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdTeD0AC0ehwGm1_EQ5zvOH9rN_ZXQiS2NGrVODxIRTKhFGVw/viewform) を用いて報告するようにお願い致します」。

以上